

ワカサギとチカ及びホツケと  
チシマホツケ

この前に、私は似ている魚として、イソバテングとホカケアナハゼ及びイカナゴ(コナゴ)とシワイカナゴに就いて、簡単に図示紹介致しましたが、これ等の魚は、現在、魚の仲間としても、形は良く似ていますが、幾分形態的に細部が違っていますから、区分けの上で別の属に入れられているものです。

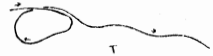
今日お話し致しますのは、前の魚のお互いよりも、もつと、類似しているもので、いいかえれば、形態的に細部を調べても、中々区別しにくい魚類で、人間でいつて見れば、支那人と本日本人位の違いよりわ、一寸もう少し違う位とでもいつたら良いのでしょうか。要するに同じ属に含まれますけれども、種類を分けて取扱われている魚なのです。これ等は2種類お互に、漁業者とか魚屋等が、余りに似ているために、屢々同じに取扱われているものだからです。

最初に北海道及び東北地方の沿岸、河川、湖沼で、普通に、商業的にも重要なワカサギ (*Hypomesus olidus*) と北海道の沿岸で極く普通に捕られ、われわれの食事にも、淡白の味で知られているチカ (*Hypomesus japonicus*) とであります。この2種類わ、時には混獲される

ため、外見上きわめて間違いやすいので人によつては、同じ種類ではないかという人さえあります。そのために、普通に市場等でチカとして売つていることも見受けられます。しかし生態的にも産卵習性等もかなり異なるようで、形態的に似ても、詳細な部分では随分異なるようです。

また、これ等の2種については、多くの研究者により報告されており、意見もまちまちですが、それらを総合して、専門家は別の種類にしているようです。

略図で見ますと分りますように、胃袋の形は確然と異つています。また腹鰭の起点が背鰭のどの点に始まるかが問題に



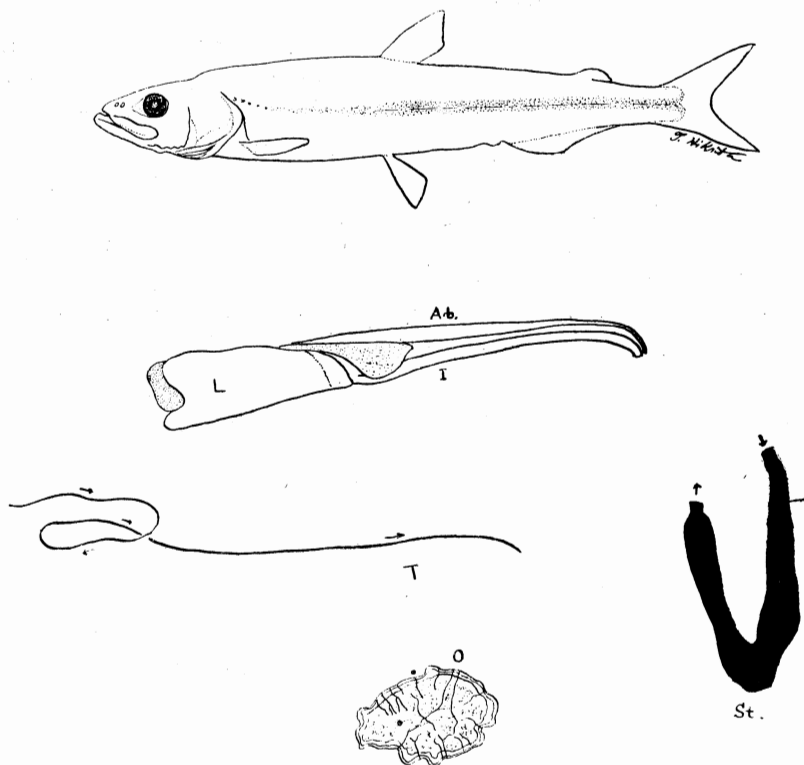
第1図 ワカサギ (渚滑産)  
L. 肝臓 St. 胃 Ab. 鰾 T. 消化管走行  
Pc. 幽門垂 I. 腸 S. 鱗 O. 耳石

なりますが、概して、ワカサギは、背鰭起部直下、あるいはそれより僅か前方に始まるのに与し、チカは、背鰭の第2、第3軟条下に始まります。しかし多くの中にはこれらの中間型のようなものが見られることもあります。背椎骨数は、ワ

カサギとチカで約10近い差がありますが、チカの方が多いわけです。今これらの背椎骨数の範囲を見ると、ワカサギでは、52—58、チカでは58—66となつています。しかし背椎骨数は発生途中の水

温によつて変異があることも知られてい

ます。主上顎骨歯は、非常に細かいが、ワカサギでは多く、チカでは、ほとんどないか、疎に存在することが最近報告されています。その外に側線鱗数も多少異なりますが、特にこの2種類の若魚の区別するには参つてしまっていますが、成魚では



第2図 チカ (尾岱沼産)  
L. 肝臓 Ab. 鰓 I. 腸管 T. 消化管走行 O. 耳石 St.

カサギとチカで約10近い差がありますが、チカの方が多いわけです。今これらの背椎骨数の範囲を見ると、ワカサギでは、52—58、チカでは58—66となつています。しかし背椎骨数は発生途中の水

温によつて変異があることも知られてい

体側中央部を縦走する色素体の具合が、割合にハッキリしているのが、ワカサギのようですし、体色によつても、多くの個体の生を見ますと、比較的容易に区別がつくような気がします。

次に、春ニシンの産卵群を追つて、卵

を食べに来る、これまた同じみのホツケですが、これとて昔余り不味の魚として食用にされなかつたようです。がしかし現在はわれわれの最も重要な食用魚として、割合に安価なので、良く食べさせられます。反対に秋とれるホツケは大形でとても味のよいのをご存知ですか？このホツケの仲間にも、通称アブラコというのがあります。それはさておき、ホツケの中にも、北海道全沿岸でとれるホツケ (Pleurogrammus azonus) と稀に見ることの出来る、最もアリユーション方面で多いといわれているチシマホツケ (Pleurogrammus monopterygius) があります。この2種が、また非常に良く似ていますが、しかし、チシマホツケの体側には、明瞭な黒色横帯がありますが

ホツケには、こんなに明瞭な横帯がないというのであります。最も細部には異なつた所がありますが、普通の魚には、感覚器官として知られている側線が1本ですが、これらの種類には感覚のにぶいせいか数本あり、その各々の側線の起点及び終点が全部違つております。しばしば問題となりますのは、腹側から2本目の具合ですが、これがまた、やつかないことに、個体変異が多いのです。多くの中には、第3側線の中途から切れて、元は1本のもものが、2本のようになつたり、変な具合に曲つたり、枝分れしたりするものもあります。ともかく、これらの種類についても、まだまだ解決していないようです。皆様如何思いますか？

## 人 事 異 動

北海道さけ・ますふ化場では去る8月16日附で下記の通り人事異動を行つた。  
動かれた人々には新しい気分で一層の活躍が期待される。

農林技官	橋 本 武 三 郎	(幕 別)	伊茶仁事業場
	前 田 珍 男	(根室支場)	幕別事業場
	安 田 貞 男	(阿 寒)	石狩事業場
	小 島 巖 一	(石 狩)	計根別事業場
	永 江 敬 二	(伊 茶 仁)	阿寒事業場
	竹 内 武 三	(計 根 別)	中標津事業場
農林事務官	友 田 希 世	(千歳支場)	根 室 支 場
雇	横 川 敏 夫	(中 標 津)	徳志別事業場
事務補助員	奥 野 敦	(根室支場)	釧路事業場
	田 浦 久 雄	(本 場)	渡 島 支 場